

会 議 録

会議の名称	令和８年度第２回茨木市スポーツ推進審議会
開催日時	令和８年８月３１日（月） （午前・午後）６時００分 開 会 （午前・午後）７時１０分 閉 会
開催場所	茨木市役所 南館８階中会議室
議 長	辰本委員（会長）
出 席 者	久保田委員、柳原委員、辰本委員、久保委員、井上委員、塚本委員、片桐委員、松元委員、川口委員、栗生委員【１０人】
欠 席 者	曾根委員【１人】
事務局職員	福岡市長、向田共創文化部長、九鬼スポーツ推進課長、上村スポーツ推進課参事兼施設管理係長、坪田スポーツ推進課参事、寺田スポーツ推進課長代理、牧原スポーツ推進課上席主幹、水見係員、赤木係員【９人】
開催形態	公開／非公開
議題（報告事項・案件）	（諮問）第二期茨木市スポーツ推進計画(案)について １ 第二期茨木市スポーツ推進計画の策定について ２ その他
配布資料	案件１関係 （１）第二期茨木市スポーツ推進計画策定に向けて （２）現計画後期における施策の実績と課題（令和８年８月２５日現在 暫定版） 参考資料 （１）令和８年茨木市スポーツに関する市民意識調査 結果概要（速報） （２）スポーツ関係団体アンケート結果（速報） （３）小中学校アンケート結果概要（速報）

議 事 の 経 過

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
事務局	開会にあたり福岡市長からあいさつを申しあげる。
福岡市長	お忙しい中、ご出席いただき感謝申しあげる。それぞれのお立場でスポーツの推進にご尽力いただいていることに敬意を表する。 本日は第二期茨木市スポーツ推進計画の策定について諮問する。第一期が今年度で終了することから、新たな１０年に向けて皆様のお知恵、ご指導を賜りたい。
事務局	ここから議事進行を辰本会長にお願いする。
辰本会長	本日の委員の出席状況について報告を求める。
事務局	委員総数１１人のうち、曾根委員が欠席のため出席委員は１０人。半数以上の出席があり、茨木市スポーツ推進審議会条例第６条第２項により、会議は成立している。
辰本会長	議事録作成のため、発言の際は必ずマイクを使用いただきたい。 本日は非公開とすることが適当と考えられる案件はないため、会議は公開することとす

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	る。 本日、傍聴者は1名である。入室いただく。
福岡市長	茨木市スポーツ推進審議会条例第2条の規定に基づき、「第二期茨木市スポーツ推進計画案について」諮問する。
事務局	市長はこの後の公務のため、ここで退席する。
辰本会長	案件1の審議に入る。事務局から説明をお願いする。
事務局	本日、差替え及び追加で配布した資料について説明する。資料2「現計画後期における施策の実績と課題（暫定版）」については、成果指標の現状値を「集計中」としていた箇所を速報値に置き換えているが、回答結果の入力が完了していないため、今後数値が変わる可能性がある。 また、参考資料を追加配布している。こちらも速報値であり、今後回答の整理・分析を行ったうえで、改めて結果を提示する予定である。次回の審議会で一括して提示すると委員の皆様のご負担が大きくなるため、資料のイメージを先行してご覧いただく趣旨で本日提出している。
辰本会長	説明のとおりアンケート結果は集計途中の段階とのことである。参考資料については、今回の審議の対象外として進めたいがいかがか。
（各委員）	異議なし。
辰本会長	それでは事務局から資料に基づき説明をお願いする。
事務局	案件1「第二期茨木市スポーツ推進計画の策定について」資料に基づき説明。 ・資料1 第二期スポーツ推進計画策定に向けて ・資料2 現計画後期における施策の実績と課題（令和8年8月25日現在 暫定版） ・参考資料（1）令和8年茨木市スポーツに関する市民意識調査 結果概要（速報） ・参考資料（2）スポーツ関係団体アンケート結果（速報） ・参考資料（3）小中学校アンケート結果概要（速報）
辰本会長	資料について少しお目通しをいただきたい。
辰本会長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問があれば伺いたい。
井上委員	細かく分析されていると思うが、このアンケートは何人くらいを対象に実施したのか。
事務局	無作為抽出による2,000名を対象としている。あわせてスポーツ関係団体アンケートについて、スポーツ少年団及び理事の方を対象に24件、競技団体29件、スポーツ推進委員の理事の方も含め20件、そのほか幼稚園・保育関係12施設、包括連携協定締結企業11団体を対象としている。
井上委員	スポーツ推進委員を30年近く務めているが、体育の授業がある高校まではよいものの、高校卒業後、成人・仕事をしている方・主婦・高齢者といった層への働きかけが重要である。福井体育館、中央（市民）体育館でそれぞれ月2回ニュースポーツ教室を実施しているが、一般の方の参加人数は非常に少ない。先日実施した新体力測定も、体力に自信のある方は来られるが、体力のない方はほとんど来られない状況であった。 仕事に一生懸命で運動する余裕がない社会人が多いと思われるため、成人の方に開かれたスポーツ施設が重要である。民間ではチョコザップやカーブス等があるが、市内4つの体育館においても、室内で走れる場所やウエイトトレーニング設備の充実など、社会人を対象とした運動施設の整備を今後さらに進めていただきたい。
塚本委員	SNSの活用は今後必ず必要になってくる。私どものクラブでも最近Instagramを始めた。子育て世代をはじめ、スマートフォンでSNSから情報を得ることが多いと思うが、スポーツ推進課としてInstagram等の活用を検討しているか。

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	また、体育館の暑さについて、前回の審議会でも今後4年かけて整備を進めるとの説明があったが、4年は少し長いと感じる。スポーツ環境の整備を掲げている以上、夏場のスポーツの危険性への対応は急ぐべきである。あわせて、学校のプールが夏休み期間中は利用できないこともあり、市民プールの利用が増えているのではないかと。
事務局	SNSについては、本市でも今年の夏から運用を開始しており、茨木市のスポーツ施策について広く周知を図っていききたい。先日実施した新体力テストの様子もSNSに掲載しており、今後も投稿を進めていく。 学校のプールについては、夏休み期間中はプール指導を実施していないが、今回のアンケートでも利用者の声を聴いているところであり、学校のプールも踏まえながら市民プールのあり方について検討を進めていききたい。特に小学生を中心に市民プールを活用いただけるよう、啓発・啓蒙にも努めていききたい。 空調整備については、前回の審議会でも回答したとおり、基本的に1館あたり2年で計画を進めている。今年度は東市民体育館の空調設備導入工事を実施し、続いて南市民体育館、最後に福井市民体育館の順に整備を進める予定である。多額の経費に加え設計だけで1年近くを要し、利用状況に配慮した工期設定も必要となるため、総合的に判断すると1館あたり2年程度を要する。ご利用の皆様にはご理解いただきたい。
松元委員	「まちの持続的発展につながるスポーツ環境の整備・充実」は良い視点だと思う。特に「まちづくりと連携したスポーツ環境の整備」について、体育館を作るだけでなく、それに付随したまちづくりを行っていくという考え方は重要である。ただし、早めに検討していかなないと、施設を整備できる場所がなくなってしまう。今回の計画は10年計画であるが、これを延ばすと次の10年、20年ということになる。個人的なことになるが、自分が生きている間に整備が実現してほしいと思っているので、どこかで留めておいていただきたい。
久保田委員	資料2の1ページ左下、施策の方向性の成果指標について、策定時の人数から現状値が下がっている理由として団体の解散等の説明があったが、今後は少子化も進むため、指標は対象人口に対する参加率とすることも検討してはどうか。人口が減れば指標の見え方も変わってくると思う。 同じページ右側、「成人のスポーツへの参加機会」の「20歳代から50歳の会員数」について、属性として、子育て世代の参加支援に加え、最近は介護をしている方が時間を作れないケースも増えているため、そうした属性も分析の視点に含めてはどうか。 同じページ下段、障害者スポーツについて、現状値は数値上伸びているが、内訳を見るとボッチャに集中している印象がある。「障害特性に応じた」という記載があるが、その点をどのように考えていくか、また障害者スポーツの普及にあたっては合理的配慮が必ず必要になるため、この点もどう考えていくか気になっている。 裏面左下、ニュースポーツに関する記載について、次の担い手をどのような人たちと考えているか。長期的な計画を考えると学生の参画が重要と考えるが、ボランティアだけでなく、科目の単位履修になるといった工夫があれば、大学との連携にもつながるのではないかと。 裏面右側、施設について、多目的トイレが増えているとのことだが、トイレがあるというだけでなく、そこに行き着くまでの案内表示や動線の確保など、健常者には分かりにくい視点もあるため、当事者の意見や声を聴いたうえで充実を図ってほしい。 最後に、連携に関する項目について、現状値が「1」となっているが、スポーツの選手でなくても愛好家など好きな人たちに手伝ってもらえれば状況も変わってくるのではないかと感じている。
事務局	施策の方向性2について、対象人口を考慮した見方は重要な指摘である。本市全体の人口は現状まだ減少していないが、他市と比較すると減少の比率は少ないと認識している。ただし個別に見ると、各市民大会、特に陸上競技大会や少年野球大会、水泳大会等で参加者数の減少が目立つ状況にある。その要因としてスポーツ団体数の減少が挙げら

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	れるが、キッズスポーツフェスタ等の入口となるイベントを通じて、生涯スポーツへの参画を積極的に進めていきたい。 障害者スポーツの推進について、ボッチャの交流大会を入口として障害のある方とない方の交流を図っているが、今後も様々なスポーツで同様の取組を続けていきたい。 スポーツを支える人材の育成・支援について、スポーツボランティアの確保・育成に取り組んでおり、特にニュースポーツの分野で既に活動している団体があることも把握しているため、そうした団体とも連携しながら人材の確保・育成に取り組みたい。スポーツ推進委員の皆様も、スポーツ推進を担う重要な人材であると考えている。 連携と協働による生涯スポーツの活性化について、企業・大学等所属選手によるスポーツ教室等の実施回数は現状1回となっているが、今年度、ガンバ大阪との連携に加え、バスケットボールの大阪エヴェッサとの連携協定を進めているところであり、プロチームとの連携を通じて地域スポーツの活性化、人材の確保にもつなげていきたい。
片桐委員	この資料と、我々スポーツ少年団が置かれている立場をどう結びつけるのがよいか考えていた。一朝一夕にできることではないと理解しているが、スポーツ少年団は24団体あり、競技種目は野球、サッカー、バレーボール、テニス、体操、武道（少年剣道）の6種目である。武道や体操等、実施率が伸びていない種目については、こちらの仕掛けが必要だと感じる。そのためには人材と環境、すなわち練習場所・活動場所が必要になるが、まずはキッズスポーツデー等を有効に活用し、野球やサッカー、バレーボールといったメジャーな種目に限らず、新しい人材を増やしていく取組が必要と考える。環境と人材の両面について、今後もスポーツ推進課と連携しながら取り組んでいきたい。
久保委員	スポーツの一覧の中にキャンプが含まれていないが、キャンプは野外スポーツ・レクリエーションスポーツと位置付けられるものと認識している。この点についての見解はいかがか。
事務局	市としては、キャンプは、スポーツの分野に含めて考えていない。ただし、キャンプを通じたレクリエーションについては、例えば忍頂寺のスポーツ公園を中心に、観光レクリエーションという位置づけで今後も取り組んでいく方向性を持っており、社会資源の活用という観点から、市の施策として取り入れていく考え方もある。今後、キャンプについても一定の活用が図れるものがあれば、社会資源の活用の分野で積極的に取り入れていきたい。
久保委員	茨木市には銭原に大きなキャンプ場があり、他市とは異なる特色である。野外キャンプは野外スポーツであると認識しているので、所管課は異なるとしても、スポーツの一つとして位置付けていただきたい。青少年が多く利用していることも踏まえ、茨木市の特色として今後は取り入れていただきたい。今回のアンケートには反映できていないと思うが、今後についてはご検討をお願いしたい。
川口委員	小学校の代表として出席しているが、小中学生のスポーツ団体活動を行う中でのお願いとして発言したい。小学校の体育館は多くのスポーツ団体に利用されているが、アンケート結果にもあるとおり、施設使用料・空調使用料が高いとの声がある。空調使用料は1時間1,500円であり、例えば試合等で1日8時間利用すると1万2,000円かかる。夏場は本当に厳しい状況で、暑い中窓を開けて活動している団体もあり、費用面でチームに大きな負担がかかっていると感じる。保護者からも同様の声を聞いている。 所管が異なることは承知のうえをお願いするが、公共の体育館で空調があるのは市民体育館のみであり、今回、南市民体育館で行われた小学生の大会でも暑さの中での開催となった。環境面として現在の時代にはそぐわない面があると感じる。2年かけて1館ずつ整備を進めているとのことだが、可能な限り早急に空調設備を導入していただきたい。
事務局	小中学校の空調使用料が高額であるとのことご指摘は、川口委員以外の団体からも同様にいただいている。教育委員会の担当課にもこうした意見があったことを伝えていく。 空調については、熱中症対策の観点からも導入が必要と認識しているが、設置までには

発言者	議題（案件）・発言内容・決定事項
	どうしても時間を要する。市民体育館については、指定管理者による運営の中でスポットクーラーや送風機等により対応いただいていると聞いており、市の直営施設についても同様の対応を検討しながら取り組んでいきたい。
栗生委員	「だれもがいつでもどこでもいつまでもスポーツを楽しむ」という基本理念に共感する。土日は卓球連盟の会長として大会運営に携わっているが、コロナ禍以降、上級者の参加者数は減っていない一方、中級者・初級者の大会参加率は大きく減少している。また、子育て・働き盛り世代がスポーツをしていないとの調査結果とも重なるが、そうした方々にとって「参加したい」と思える魅力的な仕組みがなければ、この数値は上がってこないのではないかな。 例えば茨木市が実施している他のイベント同様、参加することで何らかの特典が得られる仕組み、体育館を利用するたびにポイントが貯まり、貯まったポイントが商品券になるといった、常時スポーツを楽しむことが得になるような取組があれば、参加率の向上につながるのではないかな。10年後を見据えて、そうした点もご検討いただきたい。
塚本委員	部活動の地域展開について、この場にも関係する委員が参加しているが、スポーツ推進課として今後どのような展開を考えているのかが見えてこない。総合型地域スポーツクラブとして地域展開には協力したいと考えているが、教育委員会との連携も含め、スポーツ推進課としての考えを伺いたい。
事務局	地域展開に関するスポーツ推進課の連携について、松元会長をはじめ委員の皆様に協議会にご参画いただいているところであるが、検討している中で大きな課題として挙げられているのが人材不足である。地域展開後にいかに人材を確保できるかが大きな課題の一つとなっている。地域のスポーツ団体の窓口をスポーツ推進課が担っていることから、スポーツ団体の皆様と連携しながら人材確保を進めることが、スポーツ推進課の重要な役割の一つであると考えている。 現時点で具体的にスポーツ団体の皆様と協議を行うには至っていないが、令和11年度の本格実施という目標を見据えながら、地域のスポーツ団体の皆様にご協力いただける点について、今後協議を進めていきたい。
松元委員	令和11年度の完全実施とは、土日（休日）の完全実施のことであるので、誤解のないよう訂正しておきたい。
事務局	ご指摘のとおり、土日の完全実施ということである。訂正しておわびする。
辰本会長	事務局からの説明のとおり、アンケートの内容はいずれも速報値であり、まだ確定した数値ではない。最終的な集計結果がまとまり次第、改めて皆様のご意見を伺う機会を設けたい。 特に意見というわけではないが、配布資料のスポーツ関係団体アンケート結果（速報）を見ると、共通するキーワードが浮かび上がる。一つは施設・コスト面、一つは人材・担い手の面、一つは参加・意識の面、もう一つは連携・発信の面であり、こうした観点も踏まえて、今後さらにご意見を伺えればと思う。
辰本会長	案件1は以上とし、案件2「その他」に入る。事務局から何かあるか。
事務局	その他の案件はない。第3回審議会の開催は11月中を予定しており、具体的な日程は、改めて調整させていただきたい。
辰本会長	ただ今の日程について、委員の皆様よろしいか。
（各委員）	異議なし。
事務局	本日の報酬については、お知らせいただいている口座に振り込む。
辰本会長	本日の案件は以上である。以上をもって令和8年度第2回茨木市スポーツ推進審議会は閉会とする。議事進行にあたり、皆様のご協力に感謝する。